

事業報告書（令和4年度）

事業名 岡山市立少年自然の家 ファミリー農園クラブ

団体名 岡山市立少年自然の家 ファミリー農園クラブ 担当者名 飯田 啓

※活動の様子がわかる写真（データもお願いします）と説明を必ず添付してください。

1. 活動内容（日時、場所、参加対象者、人数、内容等）

新型コロナウイルス感染症拡大を受け、参加される家族の健康と安全を第一に考え、今年度は9家族で活動を行うこととし、令和4年5月29日（日）・7月24日（日）・10月2日（日）・11月13日（日）・12月12日（日）の5回を日帰りを実施する予定であった。しかし、7月24日は、新型コロナウイルス陽性者の感染状況が過去最高を更新していた時期であったので、やむを得ず中止とした。11月13日は、畑での野菜収穫であったが、雨のため中止とした。また、当初計画していた野外炊事等の農作業以外の活動も、感染防止のため控えることとした。

※第1回ファミリー農園クラブ開催前に、1家族が辞退した。

○第1回 令和4年5月29日（日）

【場所】自然の家・まやかみ農園

【参加対象者・人数】7家族・28名

【活動内容等】

- ・密を避けるために、9:30と11:00開始の2部制で行った。
- ・自然の家に来所し、ファミリースペース（家族の畑）の抽選を行い、その区画に野菜の種まきや苗付けを行った。
- ・まやかみ農園の方に、畝の作り方やシートの敷き方など指導や助言をしていただいた。
- ・玉ねぎの収穫体験を行った。

※当日都合が悪かった家族は、後日（6月5日）来所され、野菜の種まきや苗付けを行った。

○第2回 令和4年7月24日（日）感染拡大中のため中止

〈実施予定〉

【場所】自然の家・まやかみ農園

【参加対象者・人数】8家族・32名

【活動内容等】

- ・まやかみ農園で、ももの収穫体験を行う。
- ・ファミリースペースでの活動を行う。（畑の手入れ・野菜の収穫・苗付け等）

○第 3 回 令和 4 年 1 0 月 2 日 (日)

【場所】自然の家・マスカット園・まやかみ農園

【参加対象者・人数】7 家族・2 8 名

【活動内容等】

- ・ハウス内での活動でもあり、9 : 3 0 と 1 1 : 0 0 開始の 2 部制で行った。
- ・マスカット園で、まやかみ農園の方からマスカットオブアレキサンドリアの歴史を聞き、実際に収穫体験を行った。
- ・まやかみ農園の方に、美味しいブドウの見分け方や長く保存ができる方法などを指導していただいた。
- ・ファミリースペースでの活動を行った。(畑の手入れ・野菜の収穫・冬野菜の苗付け等)

○第 4 回 令和 4 年 1 1 月 1 3 日 (日) 雨天のため中止

〈実施予定〉

【場所】自然の家・まやかみ農園

【参加対象者・人数】4 家族・1 5 名

【活動内容等】

- ・サトイモの収穫体験を行う。
- ・まやかみ農園の方から、できのよい野菜の見極め方や収穫の仕方並びに、来年度のファミリー農園クラブで収穫する玉ネギの定植の仕方などを指導してもらう。
- ・ファミリースペースでの活動を行う。(畑の手入れ・野菜の収穫など)

○第 5 回 令和 4 年 1 2 月 1 1 日 (日)

【場所】自然の家・まやかみ農園

【参加対象者・人数】6 家族・2 0 名

【活動内容等】

- ・野菜(サトイモ・白菜・おでん大根・聖護院かぶ・ひかりかぶ・あずま金町かぶ)の収穫体験を行った。
- ・家族の参加人数相当の野菜が収穫できるように各家族に野菜収穫リストを作成し、その野菜分を収穫し持ち帰った。
- ・まやかみ農園の方から、できのよい野菜の見極め方や収穫の仕方・保存方法などの指導をしていただいた。
- ・ファミリースペースでの活動を行った。(野菜の収穫や畑の整備など)
- ・今年度最後の活動後に、アンケートにより活動の振り返りを行った。

2. ESD の視点を取り入れたところ、ESD の視点で見直したところ

- ・ファミリースペース(家族の畑)活動で、土を耕し、畝を作り、作物を植え育て、収穫する一連の活動を通して、農業の楽しさと難しさを知り、「食」について継続して考

えてもらう。

- ・まやかみ農園や、マスカット園での農業体験や収穫体験を通して、スーパーなどで売っている野菜や、果物がどんな状態で育っているかを知ったり、家庭で食材を無駄なく使い切ろうという思いや家族の絆を深めたりする。

3. 取組の成果（参加者にどのような意識や行動の教育上の成果があったか。感想など）

- ・各家族に、約9㎡に区割りしたファミリースペースを提供し、年間を通じて各家族に責任をもって利用してもらった。多くの家族が、10回以上来園して、意欲的に活動に取り組んだ。
- ・農業体験がほとんどない家族もおられたが、まやかみ農園の方から専門的な立場に立った指導や、それぞれの家族に直接関わっていただくことで楽しんで作業をされる姿を見ることができた。
- ・リピーターの家族が畑で育てている野菜等を見て学んでいる家族もいた。リピーターの家族がよいお手本になっていた。
- ・家族で協力して農作業や収穫体験をすることで、自然に会話がはずみ、微笑ましい光景が多く見られた。
- ・マスカットの収穫が初めての家族がほとんどで、マスカットハウスに入るだけで感激されている家族も多くおられた。
- ・第5回の活動後にアンケート調査を実施した結果、「家族同士の間隔がとられていて安心だった。」「感染予防には最大限の配慮をいただいた。」「外の活動なので安心して行えた。」など、半日の活動ではあるが、安心して楽しく活動できたと好評であった。
- ・『わあ、できている！』という子どもの心からの声がうれしく、この経験や感動がこれからの人生につながってもらえたら。」という願いや「子どもが育てた野菜を張り切って調理する姿や苦手だったピーマンが大好きになった。」「子どもが以前より野菜に興味をもった。」という子どもたちの変化を感じている記述が多く見られた。ファミリーで行うよさを感じることができたと思う。
- ・「野菜はスーパーで売っている状態でしか子どもに見せられなかったもので、今回は本当に収穫させてもらうことができよかった。」「夏野菜の収穫は、毎週足を運ぶことになり大変だったが、子どもにとっていい経験になった。」「日々食べている食べ物は大変な手間をかけて作っているものと改めて実感した。」などの感想から、農作業や収穫体験をする中で、農業の楽しさや大変さを知ることができ、充実した活動ができたと思われる。
- ・「スタッフの方々が親切な対応で有難かった。」「一年間、大変ありがとうございました。勉強になりました。」「楽しい一時でした。ありがとうございます。」など、自然の家職員にとって心温まる感想もいただくことができた。

4. 今後の課題と展望

- ・新型コロナウイルス感染症予防対策として、家族の健康と安全を第一に考え、3密を避けるための工夫として分散での実施や収穫体験以外の活動の自粛を行った。コロナ禍で実施

するにあたり、活動の工夫や内容の変更など様々な面で感染症予防対策・衛生対策を積極的に進め、感染状況より配慮し、中止した回もあった。

- ・年間スケジュールでは野外炊事やその他の活動を計画していたが、新型コロナウイルス感染症予防対策の観点から、参加者同士の接触を避けるためにも調理や食事の提供を控えることとした。野外炊事を楽しみにされていた家族もおられたので、残念だった。
- ・新型コロナウイルス感染症予防対策・衛生対策の観点から、発熱等で体調がすぐれない方が参加しないようにするために、第1回から第5回までの受付は全て少年自然の家で行い、参加者全員に非接触型の体温計で体温と体調の確認及びマスク着用をお願いをした。
- ・今年度でファミリー農園クラブは11年目で、ファミリースペース活動を取り入れて10年目であった。リピーターの家族があり、リピーターの家族が取り組んでいる様子を見ながら畑の耕し・畝作り・苗付けなどをする家族や、直接教わる家族もあり、他家族とコミュニケーションの場にもなった。
- ・ファミリースペースで家族と一緒に野菜を育てることで、野菜作りの楽しさ・喜び・難しさなどを家族で感じてほしいと願っている。また、自分で育てた旬の野菜を食べることで野菜の本当の美味しさを味わい、「食」に対する興味や関心を高めてほしいという願いもある。これらのことは、今後も継続したい内容であり、さらに「食品ロス」について考える糸口にしていきたいと考えている。
- ・来年度も新型コロナウイルス感染症の状況等を踏まえ、引き続き参加される家族の健康と安全を第一に考え、感染症を正しく認識し、感染症対策を適切にとりながら実施方法や活動内容などを計画していきたい。